

平成 28 年 10 月 25 日
港湾局 海岸・防災課
水管理・国土保全局 防災課

津波防災に貢献した方を対象とした国際賞を創設 ～はまぐち ごりょう濱口梧陵 国際賞（国土交通大臣賞）授賞式及び記念講演会～

津波防災をはじめとする沿岸防災技術分野で顕著な功績を挙げた国内外の個人又は団体を表彰するため、「濱口梧陵国際賞」（国土交通大臣賞）が創設され、国土交通大臣から受賞者への授賞式等が10月31日に行われます。

我が国の津波防災の日である11月5日が、昨年12月の国連総会において「世界津波の日」として制定されました。この機会をとらえ、沿岸防災技術に係る国内外で啓発及び普及促進を図るべく、国際津波・沿岸防災技術啓発事業組織委員会により、国際的な賞を創設することとなりました。賞の名称は、我が国において150年ほど前に自らの資産を投げうって村人の命を津波から守った濱口梧陵氏に由来します。これにより、津波防災をはじめとする沿岸防災技術分野で顕著な功績を挙げた国内外の個人又は団体を表彰し、その功績を称え、広く世に知って頂くものです。

授賞式及び記念講演会を下記の通り開催しますのでお知らせ致します。

記

- (1) 日 時 平成28年10月31日（月） 15時00分～（授賞式）
15時40分～（記念講演会）
- (2) 場 所 東海大学校友会館（虎ノ門・霞ヶ関ビル35階）
- (3) 受賞者 2名、1団体
 - 首藤 伸夫 東北大学名誉教授／日本大学教授
 - Eddie Bernard 前アメリカ海洋大気庁太平洋海洋環境研究所長／ワシントン大学客員教授
 - チリ共和国内務省国家緊急対策室（ONEMI）※団体での受賞

※当日は、撮影が可能です。撮影を希望される報道関係者は別紙4「申込用紙」に必要な事項を記入のうえ、10月28日（金）12時までにFAXでお申し込みください。

当日は14時50分までに会場にて受付をお願いします。

※国会等の諸事情により、出席者変更の可能性がります。

【問い合わせ先】

国土交通省 港湾局 海岸・防災課 菊地（46752）、藤田（46764）
電話：03-5253-8111（代）、03-5253-8689（直通） FAX：03-5253-1654
国土交通省 水管理・国土保全局 防災課 稲葉（35832）、有田（35834）
電話：03-5253-8111（代）、03-5253-8459（直通） FAX：03-5253-1607

2016年 濱口梧陵国際賞

授賞式及び記念講演会

我が国の津波防災の日、11月5日が、昨年12月の国連総会において「世界津波の日」として制定されました。この機会をとらえ、沿岸防災技術に係る国内外での啓発及び普及促進を図るべく、我が国において150年ほど前に自らの資産を投げうって村人の命を津波から守った濱口梧陵の名前を冠した「濱口梧陵国際賞」を創設することと致しました。これにより、津波防災をはじめとする沿岸防災技術分野で顕著な功績を挙げた国内外の個人又は団体を表彰し、その功績を称え、広く世に知って頂くものです。



濱口梧陵

日時： 2016年10月31日（月）15時～
場所： 東海大学校友会館
（虎ノ門・霞が関ビル35階）

プログラム： 授賞式 15:00～
記念講演会 15:40～

後援

国土交通省
内閣府政策統括官（防災担当）
和歌山県
広川町
地域安全学会
土木学会海岸工学委員会
日本建築学会
日本災害情報学会
日本自然災害学会
防災科学研究所

濱口梧陵国際賞選考委員会（敬称略）

河田 恵昭（委員長）	京都大学名誉教授、関西大学教授、人と防災未来センター所長
藤田 光一	国土交通省 国土技術政策総合研究所長
春日井 康夫	（同） 前副所長
魚本 健人	国立研究開発法人 土木研究所理事長
栗山 善昭（事務局）	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所長
Dr. Giovanni Cuomo	Research Director, Maritime and Coasts, HR Wallingford, United Kingdom
Prof. Billy Edge	Professor, North Carolina State University
Dr. Jane McKee Smith	Scientific and Professional, Coastal and Hydraulics Laboratory, Engineer Research & Development Center, U.S. Army Corps of Engineers
Mr. Deepak Vatvani	Senior Advisor on Coastal Flooding, Deltares, Netherlands

主催 国際津波・沿岸防災技術啓発事業組織委員会



国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所
港湾空港技術研究所(PARI)[事務局]
国立研究開発法人 土木研究所(PWRI)
公益社団法人 日本港湾協会(PHAJ)
一般財団法人 国際臨海開発研究センター(OCDI)
一般財団法人 沿岸技術研究センター(CDIT)
一般財団法人 みなと総合研究財団(WAVE)
一般財団法人 港湾空港総合技術センター(SCOPE)

受賞者のご紹介

首藤 伸夫教授 東北大学名誉教授／日本大学教授



首藤教授は沿岸域における津波の挙動を正確に再現する数値シミュレーションモデルを開発された。本モデルは、首藤教授が指揮した TIME 計画（Tsunami Inundation Modeling Exchange 計画、UNESCO による支援）においてアメリカ、トルコなどを含む 24 カ国、52 機関に移転され、各国の津波災害軽減計画の作成に適用されている。本モデルならびに同じく首藤教授が提案した津波被害推定手法は、2011 年東日本大震災の復興計画の策定に活用されている。首藤教授は、中央防災会議「災害教訓の継承に関する専門調査会」の委員を務めるとともに、国際海岸工学賞（アメリカ土木学会）、日本学士院賞「津波防災の総合的研究」を受賞されている。

Eddie Bernard 博士 前アメリカ海洋大気庁（NOAA）太平洋海洋環境研究所長



Bernard 博士は、米国津波災害低減プログラム（National Tsunami Hazard Mitigation Program）の初代委員長として、世界で活用されている早期津波検知・浸水予測システムの構築に貢献した。本システムは、深海域で津波の高精度な計測を行い衛星を介して瞬時に情報を転送する DART ブイシステムとそのデータを用いた浸水予測数値モデルより構成されている。本システムの運用は、当初、米国ならびに環太平洋地域に限定されていたけれども、2004 年インド洋大津波以降、インド洋やカリブ海など他の地域にも展開され、現在、津波の監視・予測体制の世界標準となっている。これらの功績により、Bernard 博士は、Service to America Medal（2008）、the Department of Commerce Gold Medal（2005）ほか多数の賞を受賞されている。

チリ共和国内務省国家緊急対策室（ONEMI）



チリでは 2010 年チリ中部マウレ地震による津波発生時に、地震観測・津波予測・警報の発令が別々の機関でなされており、警報の発令に地震発生後 17 分を要していた。また、一部の地域では津波警報の解除後に最大波が来襲したとされ、いったん丘陵地に避難した人の中には津波警報の解除を知り、丘陵地を降りた人がおり、その中にはその後来襲した津波の犠牲になった人がいるなど、警報体制に問題があった。国家緊急対策室（ONEMI）はこのような体制を整理し、警報に関わる業務を自動化、一元化することにより、警報発令の迅速化に大きく貢献した。また、夜間に 6 万人規模の避難訓練を実施するなど、防災意識の向上に貢献した。その結果、2015 年チリ中部イジャペル地震発生時には、地震発生後 8 分で予備的避難情報を、10 分で津波警報を発令することができ、チリ第 4 州の沿岸域の住民およそ 6 万人のうち、97%が避難するという高い避難率を記録、被害低減に大きく貢献した。

「世界津波の日」に関する国土交通省の取り組み

国土交通省では、「津波防災の日」である 11 月 5 日が、平成 27 年 12 月の国連総会本部会議において「世界津波の日」として制定されたことを受け、下記の取り組みを計画しています。

1. 津波防災に貢献した方への国際表彰制度の創設（今回記者発表）

○概要

津波・高潮等に対する防災・減災に関する調査・研究、技術開発、又は、地域における防災・減災の取り組みに顕著な功績があった国内外の個人及び団体を対象とした「濱口梧陵国際賞」を創設。

○授賞式、記念講演会

日時：平成 28 年 10 月 31 日（月）

場所：東海大学校友会館

2. 「世界津波の日」制定後、初の大規模津波防災総合訓練の実施（10 月 4 日記者発表）

○概要

「世界津波の日」制定後初となる訓練では、留学生等の津波避難訓練、在京大使館による視察、「世界津波の日高校生サミット」参加者からの決意表明、広報展示などを国際的な取り組みを計画。

○大規模津波防災総合訓練

日時：平成 28 年 11 月 5 日（土）

場所：高知新港（高知県高知市）

3. チリ共和国と連携した合同津波避難訓練（8 月 8 日、10 月 25 日記者発表）

○概要

南海トラフ地震に伴う津波が太平洋を伝播したことを想定し、チリ共和国においても津波避難訓練を実施。チリ等の中南米諸国から津波防災関係者を訓練に招待。

○チリ共和国との合同津波避難訓練

日時：平成 28 年 11 月 4 日（金） ※チリ共和国は現地時間 11/3(木)

場所：細島港白浜地区（宮崎県日向市） ※チリ共和国はバルパライソ市

4. その他

津波防災の日に併せて、地方整備局等が実施する訓練にあわせて、一般の方に向けた世界津波の日の広報展示等を計画。

濱口梧陵国際賞（国土交通大臣賞）授賞式
撮影申込用紙

津波・沿岸防災技術啓発事業組織委員会事務局 行

FAX：046-844-5072

■日 時：平成28年10月31日（月） 15:00～
■会 場：東海大学校友会館
（東京都千代田区霞が関3丁目2-5 霞が関ビル35階）

貴社名：_____

媒体名：_____

ご担当の方のお名前：_____

ご連絡先電話番号：_____

ご連絡先FAX番号：_____

人数：_____名

※ 必要事項を記入の上、10月28日（金）12:00までにFAXでお申込下さい。
FAXの送付等に関するお問い合わせ
国際津波・沿岸防災技術啓発事業組織委員会事務局 近藤 TEL：046-844-5040